

2019年11月8日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 秋 川 牧 園  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 秋 川 正  
 (コード番号 1380)  
 問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 原 田 良 人  
 (TEL 083-929-0630)

2020年3月期 第2四半期(累計)業績予想と実績との差異及び  
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月13日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想における予想数値と比較して、本日公表の実績数値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2020年3月期通期の連結及び個別の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績数値との差異  
 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,799	百万円 19	百万円 30	百万円 17	円 銭 4.21
実績値(B)	2,719	△23	△6	△10	△2.58
増減額(B-A)	△80	△42	△36	△27	
増減率(%)	△2.86	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	2,700	△11	△2	△22	△5.40

(2) 個別

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,792	百万円 23	百万円 14	円 銭 3.40
実績値(B)	2,711	△1	△5	△1.40
増減額(B-A)	△81	△24	△19	
増減率(%)	△2.9	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	2,692	8	△1	△0.33

(差異及び修正の理由)

売上高につきましては、消費マインドの低下傾向や鶏肉相場の低迷の影響により、鶏肉及び冷凍加工食品の販売が未達となり、当初予想を下回りました。

利益面につきましては、個別は鶏肉パックセンター及び冷凍食品工場の人件費や経費を含む製造コストの増加や、鶏肉の売上高の下振れの影響などにより当初予想を下回りました。連結の差異は個別の理由に加えて、鶏肉一次処理場の外国人技能実習生の受け入れに伴う費用の増加などにより当初予想を下回りました。

## 2. 2020年3月期 通期連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 127	百万円 140	百万円 88	円 銭 21.27
今回修正予想 (B)	5,650	72	92	50	12.17
増減額 (B-A)	△150	△55	△48	△38	
増減率 (%)	△2.6	△43.3	△34.3	△43.2	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	5,623	98	130	135	32.42

### (2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,785	百万円 109	百万円 67	円 銭 16.27
今回修正予想 (B)	5,635	84	50	12.12
増減額 (B-A)	△150	△25	△17	
増減率 (%)	△2.6	△22.9	△25.4	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	5,608	79	54	13.06

(修正の理由)

売上高につきましては、消費マインドの低下傾向や鶏肉相場の低迷の影響により、鶏肉及び直販事業の販売の苦戦が予想されることから、当初の予想を下回る見込みであります。

利益面につきましては、上半期の業績の下振れ要因（鶏肉パックセンター及び冷凍食品工場の人件費や経費を含む製造コストの増加など）に加えて、上記の売上高の下振れの影響や、子会社の鶏肉一次処理場の処理量が減少することに伴う処理コストの増加などにより、当初予想を下回る見込みであります。

以 上